

会 議 録

| | |
|---------|--|
| 会議の名称 | 令和元年度第2回行田市市民公益活動推進委員会 |
| 開催日時 | 令和元年12月12日(木) 開会14時00分・閉会16時00分 |
| 開催場所 | コミュニティセンターみずしろ 1階ギャラリー |
| 出席者氏名 | 生沢弘幸 小池佐栄子 羽鳥優治 金原二郎 串田隆義 石橋和夫 松井秀二郎 小河原宏之(代理:鈴木孝佳) 智田輝史 澤田春雄 田尻要 大谷春彦 守裕平 馬場康治(代理:鴨田圭佑) ※敬称略 |
| 欠席者氏名 | 今村武蔵 駒見行彦 加藤智宏 ※敬称略 |
| 事務局 | 地域づくり支援課: 風間主幹、内沼主査、黒澤主任 及び市民活動サポートセンター職員1名 |
| 会議内容 | 1 委員長挨拶 2 議 事 (1)みずしろフェスタ2019について (2)市民やる気応援助成金について (3)市民活動サポートセンターの活用について (4)その他 |
| 会議資料 | (1) みずしろフェスタ関連資料 ① 実施報告書 ② 実施状況(入場者・売り上げ) ③ アンケート結果及びアンケート用紙 (2) 行田市市民活動やる気応援助成金関連資料 ① 市民活動やる気応援助成金実績一覧 ② 市民活動やる気応援募集要項 ③ NPO法人とは?(大谷委員提供資料) ④ NPO法人・市民公益活動団体・任意団体等に対する助成金・補助金 (3) 市民活動に関する数値一覧 |
| その他必要事項 | 傍聴人なし |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|-------|--|
| 司 会 | ○ 開 会 |
| 委員 長 | <ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言 ・会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴人なしの報告 など |
| 司 会 | 1 委員 長 挨拶 |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ |
| 事 務 局 | 2 議 事 |
| 松井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 |
| 石橋委員 | (1) みずしろフェスタ 2019 について |
| 串田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施報告書、実施状況、アンケート結果の説明 |
| 鈴木委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員からの感想意見をお願いしたい。 |
| 金原委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民から市民活動に興味をもってもらいたい。行政では手が回らないことを市民活動が担いたい。行政からみずしろフェスタに補助金を出してほしい。 |
| 智田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・行田市制施行 70 周年記念事業の補助金をもらい、みずしろフェスタと同時開催で絵手紙展を開催し、延べ 881 名来場。コミセンを利用している人が多いのを感じた。子どもたちもたくさん集まる。会場としてよいと思う。 |
| 澤田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会が 3 つの部会に分かれたのがよかった。 |
| 澤田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・公益性の線をどこで引くかだけれど、文化団体にも声をかけ、舞台発表などを充実していければよいと感じた。 |
| 澤田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示場所が 2 階だった。1 階と 2 階では来客数が違いすぎる。2 階には人が来ない。2 年連続 2 階だったので、次回はローテーションしてほしい。 |
| 澤田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市外からの来場者も多かったように感じる。ポスターに結婚相談所のことを載せてもらえただけでも知名度が上がったのではないかと考えている。子どもが来れば親が来る。子どもが来たいと思える企画を提案することが成功につながるのではないか。 |
| 澤田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・他団体の活動発表が参考になった。 |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>議 長 石橋委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他にも意見はあるか。 ・実行委員会が複数回開催されたことがとてもよかった。市民活動をしているという実感があった。 |
| <p>議 長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・浸透してきているのは確実。実行委員会を複数行い準備したというプロセスが大事ではないか。 |
| <p>事 務 局</p> | <p>(2)市民やる気応援助成金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明。 ・今年度提案団体はなかったが、相談は6件あった。相談を受けながら、助成金の要件などについて考え直す時期に来ていると感じている。委員のみなさんから申請する立場として意見をもらいたい。 |
| <p>議 長 大谷委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・検討していく項目は次の5つである。 ①対象団体②金額③助成率④申請のタイミング⑤助成対象期間 ・まずは対象団体 NPO について大谷委員から説明をお願いします。 ・NPO 法人の作り方講習会の資料を抜粋して持参したので、その資料を基に説明していくこととする。NPO 法人の新規認証数は近年減少傾向にある。NPO 法人のメリットは団体名で法律行為が行える。財務情報などが公開されるため、社会との接点ができる。社会的信用が高まる。補助金や業務委託を受けやすくなる。従業員を雇用しやすくなり人材確保につながる。組織的な活動が可能になる。寄付金を集めやすくなる。メリットもあるが、義務も伴う。義務は資料の P.22 参照。実態として10分の1くらいの法人が休眠法人となっている。 |
| <p>議 長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・最近は法人格が多様化し、必ずしも NPO にならなくてもよいという状況かもしれない。スタート応援事業の要件として、将来 NPO になることというのはどうなのでしょう。その他の部分についても意見をもらいたい。 |
| <p>鈴木委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも NPO 法人が信用できるわけではないと思う。逆に言うと、法人にこだわる必要はないと思う。 |
| <p>議 長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・この委員会でプレゼンテーションしてもらい、審査すれば、NPO 法人という要件はなくてもいいと思うのだが、みなさんどうでしょうか。申請のハードルは下げるが、委員会の審査は厳しくやっていくという |

| | |
|-------------------|--|
| <p>松井委員</p> | <p>のはどうだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請の段階では受付けて、審査をきちんとすればいいのではないか。相談はあるのに申請がゼロというのは寂しい。 |
| <p>議長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・要項を改正し、書類が整えば受け付けるとしてよいか。考えられる問題は、申請件数が多くなり、委員会での審査が大変になるということかと思うが。 |
| <p>生沢委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策の関係で申請しようとした立場から意見を言いたい。いつまでに申請しなくてはいけない、いつまでに助成金を使わなくてはいけないという条件が厳しすぎると感じた。相談はあったけど申請がなかったというのは、条件が厳しいから。せめて、プレゼンテーションの場を提供できるようにしてほしい。 |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料にあるように、他市の状況をみると NPO 法人に限定していないところも多いので、NPO 法人に限定するという条件を下げるのは 1 つの案だとは思いますが、スタート応援助成金で備品を購入したけれど、2 年目に活動していないというのは困る。チェック機能が必要だと思う。相談を受けながら、今年度中に申請し、審査し、決定し、2 月までに実施しなくてははいけないというのはとても難しいことだと感じている。他市では、来年度の事業を今年度審査するとしているところもある。申請は5月中で3月末までに実施すればいいというところもあった。本市では、委員会の開催時期に合わせて、年3回の申請期限を設けたが、それが申請できない理由になってしまったのかもしれない。利用する立場としての意見を聞きたい。 |
| <p>議長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・使ってもらいたいし、使いたいのには、自分たちで作った要項で首を絞めてしまっている。やはり、申請はしやすく、チェック機能を委員会としてしっかりしていくというのでどうだろうか。 <p>金額についての話題に移りたい。今年度の助成金の予算はどのくらいあるのか。</p> |
| <p>事務局 議長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・40 万円あります。 ・今の助成金は 10 万円が上限であるが、これは素晴らしいという事業であれば委員会の審査を経て 40 万円をひとつの団体に助成するという |

| | |
|------------------|---|
| 生沢委員 | <p>のもありではないかと思うのだが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容によって、他への波及効果が大きいものであれば、20万、30万、予算の範囲内で助成するというのありがたい。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・波及効果というものは審査の要件ではないと思うので、注意してもらいたい。 |
| 事務局 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・桶川市では、審査の段階で金額を決定するとのことだった。 ・最近桶川市のようなフレキシブルに決定するものが増えているように感じる。しかし、コンプライアンスの問題が出てくるので、審査する側の責任負担は大きくなる。 |
| 事務局 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・この方法で審査した結果、団体の希望額の4分の1になってしまったとも聞いている。 ・それはどうせ減らされるのであれば、多めに申請しておこうとするものではないのか。それを盛りすぎだと審査するのは委員会に任されてくる。みなさん、このやりかたに対応できるでしょうか。 |
| 金原委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・入口は広めても、審査をしっかりとすればいいと思う。申請書類もあまり複雑にせず、省けるものは省いていったほうがいい。委員会でわからない部分は質問し、プレゼンテーションしてもらって判断していけばいいと思う。 |
| 鈴木委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・助成金は1回きり。生沢委員の助成してもらいたい空き家対策事業は1回きりの助成金では事業を続けるのは難しいのではないかと。事務局に質問なのだが、今年の助成金を40万円と決めた理由はなにか。 |
| 事務局 議長 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を基に10万円を4件と積算している。 ・助成率の問題を考えてもらいたい。意見をもらいたい。 ・他市では全額が助成対象というところもある。 |
| 松井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・金額が大きくなると、市民活動がやればいいとなり、行政との協働という点が薄れてしまいます気がする。やはり市民活動という立場からすると10万円くらいが適当ではないか。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの意見をありがとうございます。今日はどの程度まで決めればいいのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今日は意見をもらえれば、事務局で後日まとめたいと思う。もうひと |

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>石橋委員</p> | <p>つ聞きたいことがある。助成金を使うスパンはどれくらいなのか。申請から実施までどれくらいを考えているのかを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額が大きいとありがたいようだけれど、残りを自分たちで用意しなくてはいけないから難しい。10万円くらいが自分たちで用意できる程度かなという感じ。 |
| <p>議 長 石橋委員 事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・助成率の問題ですね。 ・8割助成してもらえるといいかなと思う。 ・民間の助成金だと、秋に申請して来年度実施というものが多い。今のやり方（申請のタイミングは年3回）がいいのか、例えば申請は5月のみとした方が事業を行いやすいのかどうでしょうか。 |
| <p>松井委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・この委員会を何回やりたいたかに申請のタイミングは合わせればよいのではないか。 |
| <p>金原委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人でお金を準備するとなると会費になると思う。会費を集めたときに、年間計画を考える。急にやりたいことがあってもお金がない。やるとなると、会費を集める4月5月となる。よって年度途中で新しいことをやるというのは普通考えられないと思う。 |
| <p>議 長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな意見があるが、時間も過ぎているので、次回の委員会でこの件は引き続き議論しましょう。 |
| <p>事務局 議 長</p> | <p>(3)市民活動サポートセンターの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基に説明 ・報告事項なので、お気づきの点があれば意見をお願いしたい。 |
| <p>事務局</p> | <p>(4)その他</p> <p>みなさんから、アピールしたいことはないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回推進委員会は2月6日（木）に他市の市民活動サポートセンターの視察に行きたいと考えている。 ・3月頃に講演会を開催したいので、講師を紹介してもらいたい。 ・水城公園の桜の季節に、コミュニティセンターへの来客が多いので、ギャラリーを展示会場として市民活動を紹介する場を作りたいと考えている。団体でPRしたいことがあったらサポートセンターまで連絡をもらいたい。 |

司 会

- ・ 1月からサポートセンターの職員が1名になってしまうので、紹介してもらいたい。

○ 閉 会

- ・ 閉会を宣言